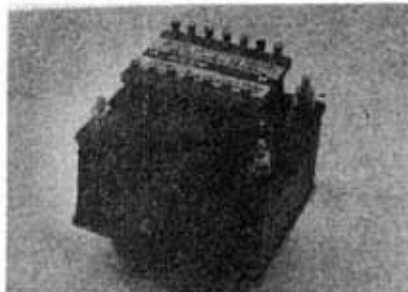


パ ー ツ

SELの変調トランス

“TM-15, TM-25”は、従来の製品にくらべ、特殊高性能コアの使用により、小形化に成功した変調トランス。主な特長は各種真空管にマッチしたタ

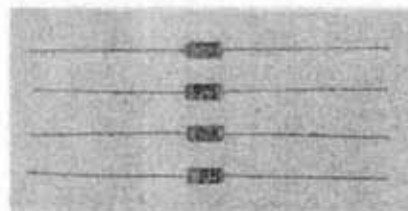


ップを備え、とくに2次巻線に従来品より30%以上の電流でも、2次インダクタンスが変化しないよう、カソードNF(16Ω)も追加してある。

(東京都品川区大井寺下町 1-441)
株式会社 菅野電機研究所

ナショナルの超小形コンデンサ

NCT形超小形電解コンデンサは、特殊製造技術により完成したもので、



たとえば6V5μFは5φ×14.5mmであったが、本品は4φ×9mmの小形化に成功したものである。

ナショナルの近接スイッチ

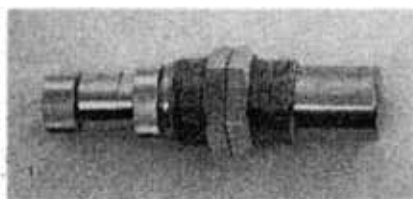
“EPS”近接スイッチは、—EPS-2351—動作金属材料：あらゆる金属材料(とくにハク状のものに感度が高い)に対し動作する。動作距離：2mm。周囲温度：-5°C~+45°C。応答時間：



200μS。応答ひん度：500回/秒。入力電圧(AC電圧は50~60%)：DC24V。負荷：450Ω以上。最大負荷容量：DC70mAの規格をもっている。

“EPS 1161”は、動作金属材料：鉄またはニッケルなどの磁性体。動作距

新製品紹介



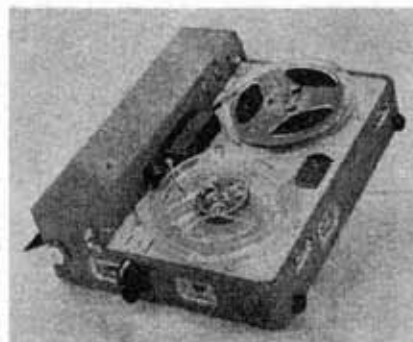
径：2±0.2mm。周囲温度：-5°C~+45°C。入力電圧(AC電圧は50~60%)：DC24V用の規格をもったセンサ。

(大阪府北河内郡門真町)
松下電器産業株式会社

テ レ コ

東京録音の小形テレコ

“DA-101”は、つぎの規格をもったテレコ。出力：250mW。周波数特性：200~6000%。速度：9.5, 4.75cm/s。録音・再生時間：9.5cm/s—90分。モータ：ガバナ付マイクロモータ。電源：AC(115~117V)、DC(UM-2A)両用。リール：最大5号。録音方式：交流ハイパス。消去方式：直流消去。



使用TR：6石、バリスタ1石、ダイオード1石。ワウ・フラッタ：0.8%以下。トラック形式：ダブル・トラック。スピーカ：65×100mm。マイク：ダイナミック形(リモコンSW付)。寸法：215×267×70mm。重量：2.7kg。カウンタ付。電池の容量および録音レベルはインジケータにより指示。

(東京都世田谷区代田2~849)
東京録音工業株式会社

サンヨーのTR式テレコ

“MC-2”は、どこでも簡単に音を録音することができ、必要に応じて、その場で再生して聞くことができる。TR式超小形テレコ。規格 使用TR：4石。録音方式：直流ハイパス。半幅録音。消去方式：飽和消去。録音時

間：10~20分(往復)。テープ速度：可変。巻きもどし時間：約3分。スピーカ：50mm。使用テープ：2号38ミクロン62m以上。出力：最大250mW。



無ひずみ100mW。電源：直流6V。寸法：141×93×54mm。価格 8,800円

ナショナルのTR式テレコ

“RQ-115G”は、700mWの大出力、ホーム・アダプタとの組み合わせで、電灯線でも使用でき、そのうえ、独自のサウンド・モニタ方式の採用により、テレコ・スピーカの役割もし、同時に電話の模様も録音できる。TR式テレコ。規格 電源：単3号乾電池12本(9V)。出力：700mW。使用TR：2SB172, 2SB173, 2SB175×2, 2SB178×2。録音方式：交流ハイパス。消去方式：直流消去。速度：9.5, 4.75cm/s。録



音表示：レベル・メータ。入力インピーダンス：30kΩ。出力インピーダンス：8Ω。使用SP：8cm。寸法と重量：182×65×197mm。1.8kg。

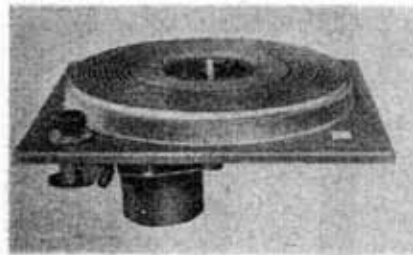
現金正価 テレコ 34,400円
現金正価 アダプタ 4,600円

(大阪府北河内郡門真町)
松下電器産業株式会社

プレーア

CECのターンテーブル

“FR-808”は、10インチの大型を継承した、4極コンデンサ起動のシンクロナス・モータを使用したター・テーブル。特長 ターンテーブルは軽合金誘物を採用、サイクロ・スイッチにより、停止位置でモータの電源が OFF とな



る。パネルは10mm厚の誘物軽合金を使用など。規格 モータ：コンデンサ起動4極シンクロナス。電力：15VA。ワウ：0.2%以下。S/N：-40dB。ターンテーブル：30cm直径。

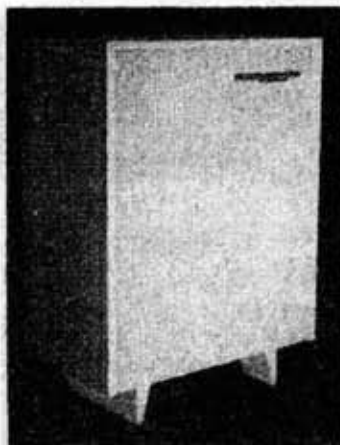
定価 19,500円

(神奈川県川崎市市の坪田向 388)
中央電機株式会社

スピーカ

クライスラーのSPシステム

“SS 200”は、音域が広いこと、ひずみが少ないこと、能率がよいこと、音量がよいこと、堅牢なる音響箱、吸音材の効果も解決した、2ウェイ SPシステム。規格 使用 SP：低音用 20cm、高音用 6cm。インピーダンス：16Ω。再生周波数帯域：50~16000%。最大許容入力：8W。寸法と重量：510(幅)×720(高さ)×315(奥行)mm、15.5kg。



測定器

国洋電機のTR簡易試験器

“TCB 4”は、心形ながら性能は精密微と同等で、270%における β を500



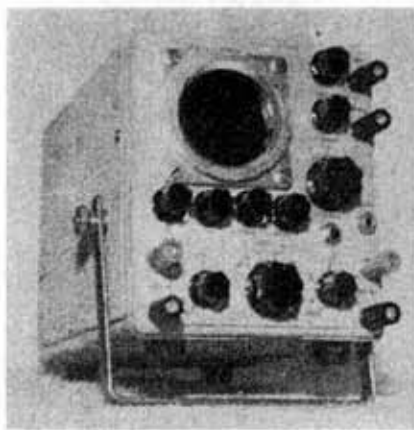
まで測定でき、 I_{cm} は規定電圧 V_{cm} で測定できるように、0~100Vまで連続可変できる。主な規格 3測定範囲および誤差：0~500 3レンジ 3%±1。測定周波数：270%(CES規格)。 I_c ：0~10mA 2レンジ。 V_{cc} ：6V一定。 I_{cm0} ：50 μ A プラススケール。 V_{cm} ：0~100V 2レンジ連続可変。

定価 67,000円

(東京都目黒区大岡山 2,262)
国洋電機工業株式会社

中野無線のオシロスコープ

“CO-50A”は、合理化設計による小形、軽量、安定の高いロー・コストのオシロ。規格 B管：50DBI。垂直



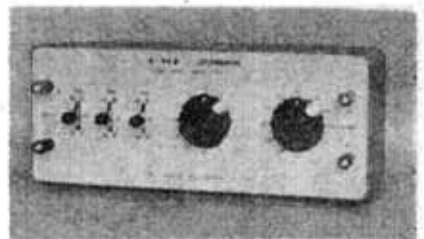
水平：20%~200ke \pm 3dB。インピーダンス：40pF 500k Ω 。時間軸：20%~20ke。インピーダンス：40pF 500k Ω 。利得：30dB以上。寸法と重量：130×150×230mm、4kg。

正価 15,000円

(東京都中野区板場町40)
KK中野無線電機製作所

スター無線の抵抗減衰器

“S-90”は、性能をおとさず、とく



に安価になるように素子に炭素抵抗と、低抵抗には無誘導巻線を用いたもので、スイッチには電話用シーメンス・スイッチを用いた精密低抵抗減衰器。規格 減衰特性：0~500ke -3dB。測定範囲：T形 0~80dB 0.5dB ステップ (0.5×10, 5, 10, 20, 40) dB。U形 0~81dB 0.1dB ステップ (0.1×10, 1×10, 10, 20, 40) dB。インピーダンス：600 Ω 不平衡 (入出とも)。測定精度：0.05dB。寸法：T形 120×250×100mm、U形 120×300×100mm。

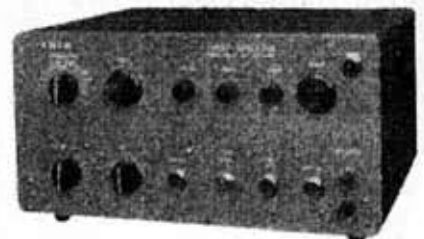
正価 T形 10,500円

正価 U形 13,000円

(京都市右京区西京極田境町 16~1)
スター無線測定器株式会社

トリオのスイープ・ジェネレータ

“RS 4”は、ラジオ受信機調整用で、マーカ周波数として455keのほかに、その \pm 10keの点にもマーカを入れたスイープ・ジェネレータ。規格 発振周波数：1F 400~500ke、BC 550~1600ke。最大出力電圧：各 50~100mV。出力電圧偏差：最大掃引において 0.5dB以内。出力インピーダンス：75 Ω 。減衰器：20dB \pm 1dB。マーカ周波数：

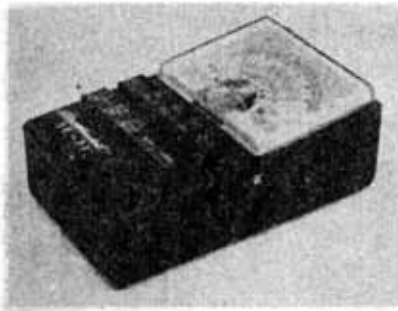


445, 455, 465keの各マーカは、それぞれ単独または同時に強度調整可。掃引方式：パーミアビリティ (μ) 可変式。最大掃引幅：1F 70~120ke、BC 100ke以上。直線性ひずみ：10%以内。水平軸用端子電圧：8V以上。電源：100V 50~60% 90VA。寸法：350×185×285mm、重量：8.5kg。

現金正価 63,000円

日置電機のテスター

“SE-37A”は、押ボタン式を採用したテスター。規格 メータ感度：100 μ A。直流電圧：0~25V (10k Ω /V)、10、



50, 250, 500, 1kV (4kΩ V), 交流電圧: 0~10, 50, 250, 500, 1kV (1kΩ V), 直流電流: 0~100mA, 10, 50mA, 抵抗: 0~20, 200kΩ, 2MΩ, 自己誘導: 1~2000L, 静電容量: 250 pF~0.02μF, dB: -20~-22dB, -20~-36dB, LA: 20, 2, 200mA, 電池: 単3乾電池3コ内蔵。

(長野県埴科郡坂城町立町)
日置電機株式会社

ラジオ

トリオのステレオ・アンプ

“W-14”は、家庭用高級ステレオ・アンプとして、完全な機能を備えたステレオ・トライ・アンプ。規格 使用球: 6AQ8×2, 6BA6×5, 6AL5, 6BE6, 6BQ5×2, 6E5, DSIM (シリコン・ダイオード)×2, 受信周波数: 76~90 Mc, 535~1605kc, 3.8~11Mc, 感度



: FM 2.5μV 84Mc (S/N 20dB), AM 30μV 1Mc (S/N 20dB), SW 40 μV 7Mc (S/N 10dB), イー比: FM 30dB 84Mc, AM 40dB 1Mc, 利得: PU 200mV, AUX 200mV, トーン・コントローラ: 低音 0~+10dB (1kc), 高音 0~ -18dB (10kc), 出力: 最大 7W×2, 無ひずみ 5W×2, 周波数特性: 20~50,000%, 残留雑音: PU 7mV, 入力端子: PU, AUX, TAPE REC, MPX OUT, 寸法: 420×130×285mm, 重量: 10kg,

正価 26,600円

(東京都大田区調布千鳥町74)
トリオ株式会社

ナショナルのFMチューナ

“RE 510”は、つぎの規格をもった

FMチューナ, 受信周波数: 76~90Mc, 中波周波数: 10.7Mc, 使用球: 17EW 8, 12BA6, 2, 0A79 (2ダイオード), 感度: 10μV 30mV, 出力: 1W, 電圧: AC 100V 50~60%, 消費電力: 15



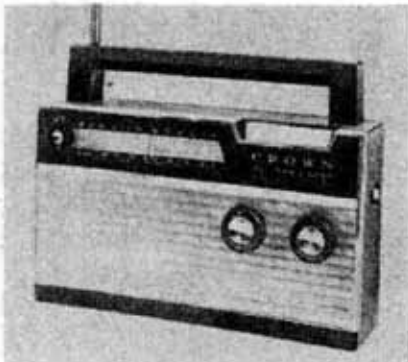
W, 寸法と重量: 272×80×149mm, 2kg,

小売正価 6,800円

(大飯野北河内郡門真町)
松下電器産業株式会社

クラウンの4B TRラジオ

“TR-124”は、535kc~24Mcまで、連続した受信周波数範囲をもった、完全受信方式プッシュ・ボタン操作の4B ホータブル・ラジオ, 規格 受信周波数: 535~1605kc, 1.6~4.5 Mc, 4.5



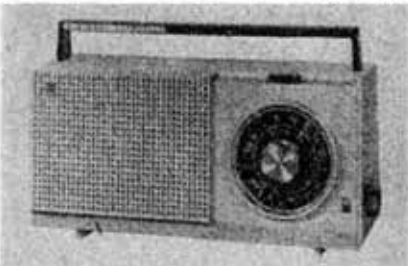
~12Mc, 10~24Mc, 出力: 最大 300 mW, 無ひずみ 200mW, スピーカ: 89mm, 52mm, 寸法と重量: 145×245×168mm, 2.2kg (電池とも),

現金正価 18,500円

(東京都台東区東馬場3)
クラウン株式会社

ナショナルのTR式ラジオ

“T 770”は、大出力 TR 2SB178 の採用により、1W の豊富な音量と、10 cmの大形 SP を使用した、TR 式ホーム・ラジオ, 規格 受信周波数: 525~1605kc, 3.9~12Mc, 使用 TR: 2SB

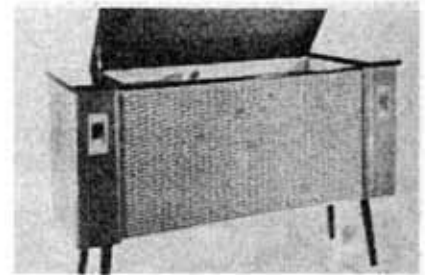


178PP 8石2ダイオード, 感度: MW 30μV/m/50mW, SW 70μV/m/50m W, 電池: 単1乾電池×4, 寸法と重量: 302×145.5×100.5mm, 1.9kg,

現金正価 8,900円

ハイオニアのステレオ装置2種

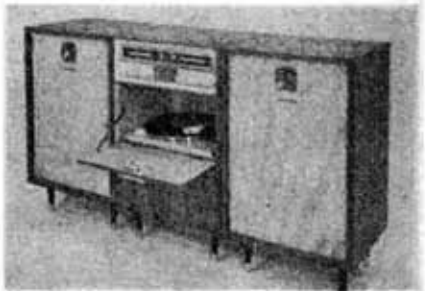
“S 31”は、つぎの規格をもったステレオ装置, [アンプ部] 使用球: 6B Q5×2, 11球もろ, 受信周波数: 535~1605kc, 3.8~12Mc, 76~90Mc, 感度: 中波 100μV 以下, FM 56μV 以下,



付属回路: FM MPX用端子付, 残響付加装置: 0~2秒可変, 出力: 最大10W (5W+5W), 無ひずみ 6W (3W+3W), [プレーア部] モータ: 4スピード速度微調付インダクション形, オートリッパ: Xtal形ターンオーバー, [スピーカ] 使用 SP: 20cm×2, ホーン形トワイター×2, 寸法と重量: 1200×390×800mm, 34.2kg,

現金正価 64,000円

“S-41”は、アンプ部, プレーア部,

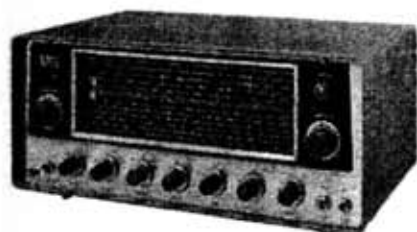


SP システムの規格はすべて“S-31”と同様, 寸法: 1530×357×720mm,

(東京都文京区音羽町6~5)
ハイオニア株式会社

トリオの通信形受信機

“JR-60”は、つぎの規格をもった通信形受信機, 受信周波数: 540~1605kc, 1.6~4.8Mc, 4.8~14.5Mc, 10.5~30Mc, 48~54Mc, バンド・スプレッド(直読): 3.5~4Mc, 7~7.35Mc, 14~14.4Mc, 21~21.5Mc, 28~30Mc, 感度: 3μV (10Mcにて S/N 10 dB のときの入力), 選択度: -10kc 帯調して 65dB 以上, 出力: 1.5W, 電圧: AC 100V 50~60% 65VA, 使用球:

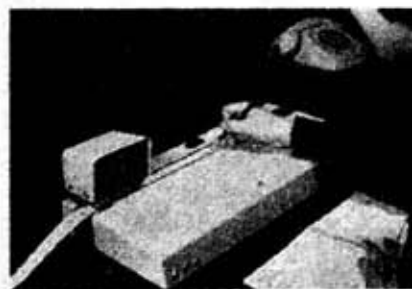


6AQ5×4, 6BL8, 6BA6×3, 6BE6×2, 6AL×5, 6AQ5, 6CA4, OA2 VR-150MT, 1N-60, 使用SP: パーマネント形SP (V.C.8Ω), 付属回路: バンド・スプレッド, Qマルチ, ANL, AVC-MVC, プロダクト検波, ゲーテッド・ビーム検波, マーカOSC, Sメータ, BFO, REC 端子, レシーバ端子, 寸法と重量: 430×195×255mm, 10.5kg. 現金正価 29,900円

その他

ナショナルの簡易複写電送装置

“NV101”簡易形複写電送装置は、送・受信兼用の本体2台で1組になっており、送信のときはテープ式になった記録紙に送信内容を書いてボタンを押すと、記録紙が自動的に走り出し、同時に受信側では送信内容と同一のものが、自動的にテープに起されて出てくるようになっている。原理は、導電変換を利用したものである。送信側の用紙に鉛筆で文字を書くと、文字の部

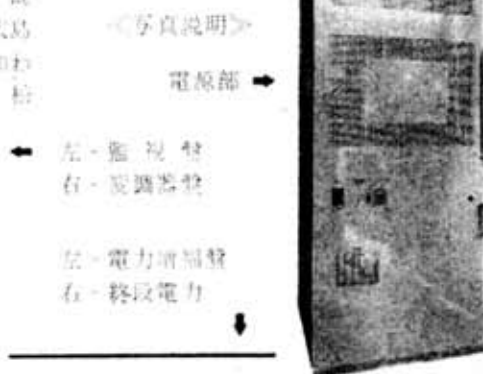
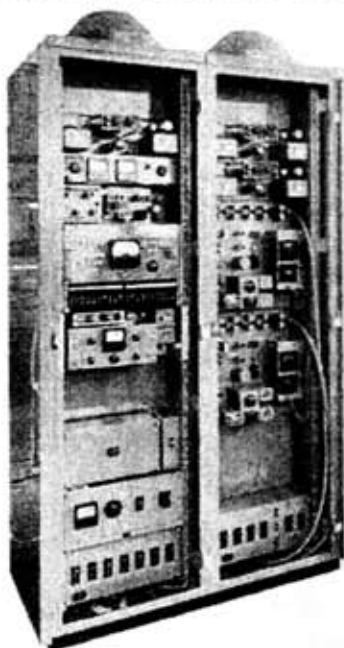


分はカーボンの付着により、電気的に抵抗値が低くなり、導電性が変わり、これを針先による走査で通信号として取り出すようになっている。この通信号は送信側より受信側に送られ、これが増幅されて受信側の針先で放電を起し、記録紙の上に文字を再現する。規格 電源: AC 100V 50~60%, 位相同期: 電源位相同期方式, 送受信テープ: 幅25mm×長さ150m, 受信方式: 放電記録, 搬送波: A-4波 (2.6kc), 送信レベル: -10dB~+5dB可変, 受信レベル: -20dB~+10dB可変。

正価 1セット(2台) 240,000円
トヨーのマジックアイ3種

NHK名古屋FM実験局に10kW放送機納入

NHKでは、昭和37年度のFM放送事業計画にもとづき、既設のもの(10kW)、大阪(10kW)、広島(1kW)、福岡(1kW)の実験局に加わって、新たに名古屋、札幌、仙台、松

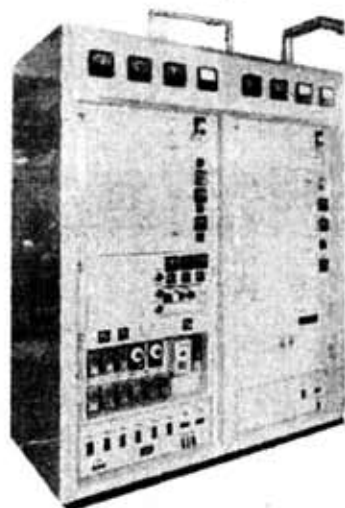


〈写真説明〉

電源部 →

← 左-監視計
右-変調器盤

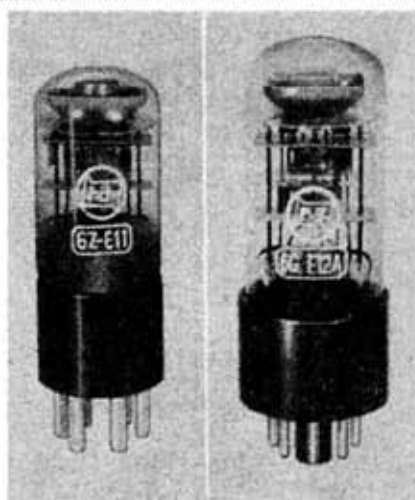
左-電力増幅盤
右-終段電力



山、熊本の5局に実験局の新設を進めている。このうち、松下通信工業では、昨年5月に名古屋局の10kW FM放送機を受注、製作を急いでいたが、このほど完成、近く納入のはこびとなった。すでに名古屋地区において、試験電波が発射されている。

また同社では、業界に先がけて、

FM放送機の研究に着手し、昭和33年に民間における国産第1号のFM放送機器を完成し、各方面から注目をあつめられている。



〈6Z-E11〉

〈6G-E12A〉

東洋無線から1)トランスレス回路兼用の一般向きとして6Z-E11, 2)ステレオ放送チューニング用ならびにFM放送用として6G-E12A, 3)テレコ、通

信機用として6R-E13が発売された。規格 6Z-E11 Er: 6.3V, Ir: 150mA, ターゲット電圧: 90~130V, 外径寸法: 74mm×30φ, 角形ターゲット, 6G-E12A Er: 6.3V, Ir: 0.3A, ターゲット電圧: 250V, 外径寸法: 30φ×76mm, 角形ターゲット, 独立作動画面開き扉面, 6R-E13 Er: 6.3V, Ir: 0.2A, ターゲット電圧: 300V, 外径寸法: 22.2φ×72mm, ガラス管内面にけい光膜を付着し、けい光画面は長方形になっている。(東京都世田谷区若林町75 東洋無線株式会社)



〈6R-E13〉